

「思い出の中公新書」アンケート

な一永江朗 ▼ な一中沢孝夫

の照葉樹林のなかで育った。酒も茶も、また米や絹もこの文化の産物である。私はこの本から、グロリーバルな立場から日本を考える基本を教えられた。

**肉食の思想**

▼鯛田豊之

人間が生命を維持するための食物を動物の肉とするか、穀物とするかという点から西洋の社会・文化・宗教と日本のそれとの差を論じた書。日本の手本として、先進国のヨーロッパをみる場合、きわめて重要な視点である。

**二二六事件**

▼高橋正衛

この事件が起ったのは私の旧制中学卒業の直前で、深い印象を受けたが、事件鎮圧の実情や、事件の背景である軍内部の対立・抗争等

については無知であったため、本書から教えられる所多大であった。私の近代史入門書。

**永江朗**

◎フリーライター

**サルトル**

▼天内原伊作

高校生のころ、「嘔吐」を読んだが意味が分からず、解説書として購入した。なぜか感動し、「この先生のいる学校へ」と専攻と志望校を決めた。卒業後も先生は、私の職場だった洋書店にときおり顔を見せてくれた。

**ウィリアム・モリス**

▼小野二郎

インターネットの時代だからこそ、紙の本、それも美しい造りの本に関心が集まる。手しごとと生活の

中の芸術を求めたモリスは時代を先取りしていた。しかも根底にあったのはユートピア思想。なんて壮大なんだろう。

**新・本とつきあう法**

▼津野海太郎

本をむやみにありがたがるのではなく、文字通り「つきあう」方法を教えてくれる。破りながら読む、歩きながら読む。電子本のことなど、一年前の本だけど意外と古くなっていない。少なくとも方向は間違っていない。

**中沢孝夫**

◎福井県立文学教授、中小企業論・地域開発論

**清沢淵**

▼北岡伸一

戦前、戦中を生きた外交評論家。清沢淵の人生とその主張を丹念に

辿り、清沢を通して戦前の日米関係を語りながら、そのまま現代の日本外交のあり方やアメリカ論を含意する評伝の最高傑作。

**中嶋 嶺雄**

◎国際教養大学学長、現代中国政治

**朝鮮戦争**

▼神谷不二

資料的制約があった一九六六年の時点で、その後明らかになる朝鮮戦争の本質を見事にとらえた名著。東西冷戦の熱戦化としての朝鮮戦争の歴史の意味とスターリン、毛沢東、金日成の意図にも迫っている。

**カリフォルニア・ストーリー**

▼石川好

アメリカ史の専門家ではない著者が自らのカリフォルニア体験を通

じて東部から西部へというアメリカ開拓史とは異なる南部から北部へというカリフォルニア発展の歴史と現実を描いた名著。姉妹篇は『カリフォルニア・ナウ』。

**「超」フランス語入門**

▼西永良成

数多くのフランス語入門書のなかで、これほど素直でやさしく、しかもフランス文学の香り高く、初級者を実に自然にフランス語の世界に導くテキストを私は知らない。フランス語で大学受験をした私は、学生にも推奨。

**中西進**

◎国際日本文化研究センター名誉教授、国文学

**美学への招待**

▼佐々木健一

美学という何やら渋面の風貌が

あつて入りにくいのが、万般にわたる知識によって具体的に、かつ原理から応用へという正当な方法によって超域的、超時間的に芸術的なるものを理解させてくれる名著である。

**アメリカ・インディアンの詩**

▼金岡寿夫

若き日に感銘をうけ、後ながく読み返しつついささか研究不十分の分野に私をさそってくれている名著である。古代的普遍という、現代もつとも必要なものに人びとを振り返らせる役割を、今後も担いつづけるだろう。

**アメリカのジャポニズム**

▼児玉実英

アメリカカリード型の戦後日本に育ってきた私にとって、これほどの逆の関係があることに驚き、関係

「思い出の中公新書」アンケート

な一中嶋嶺雄 ▼ な一中西進

中公新書の森

# 中公新書の森 2000点のヴィリジアン

1962-2009



エッセイ

芳賀徹 / 川上弘美 / 城戸久枝

対談

奥泉光 × 渡邊十糸子

[思い出の中公新書] アンケート

保存版! 全2000点リスト

中央公論新社



中央公論新社

〒104-8320 東京都中央区京橋 2-8-7  
電話 03-3563-1431 FAX 03-3561-5922  
<http://www.chuko.co.jp>

非売品

2009年5月刊